

認知症に関する活動計画(概要)

奈良県作業療法士会 地域局地域部 認知症支援委員会では

- ①士会員への認知症に関する研修、
 - ②認知症の人と家族の会 奈良県支部との連携、
 - ③自治体での認知症啓発事業協力を3本柱に活動している。
- ①の研修では当事者研修として、認知症のご本人やご家族から講話頂く研修（右図参照）が今年で6年目となる。R7年度は講師の事情により延期となったがR8年度は実施予定。

R3年度：ご本人、若年性認知症コーディネーター

本人・支援者から見たそれぞれの『支援』とは？

R4年度：ご家族

デイサービスや入院治療が行き詰まった時に救われた家族の会。

R5年度：ご家族

訪問リハ・訪看・往診の連携、介護する家族が元気である重要性。

R6年度：ご家族

入院から地域生活までOTの伴走、支援者へのメッセージ。

当事者講演の内容

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

2025年度は認知症の人と家族の会 奈良県支部主催の『みんなで作る音楽会』に協力参加し、舞台上に上がらせて頂き、突然の準備体操進行などを拝命した。



RUN伴への参加（2自治体）

認知症の人と家族の会との連携事業

定期的に行われる家族の集いや本人の集いに協力参加してきたが、年々当事者の参加が減ってきており、集いなど集団の中での相談から個の相談にニーズが変化していると推測、家族の会奈良県支部の在り方も変えていこうという動きが出てきており、県士会としてもそれに伴走する予定をしている。

近畿OT連絡協議会 認知症班の取り組みとして各県家族の会と士会合同の研修会を実施。ZOOMで近畿2府4県を繋ぎ、第一部は京都府士会と京都支部世話人からお互いの業務の共通性などの話題提供があり、第二部で各県のお互いの情報交換や協業作業について話し合われた。



みんなで作る音楽会

若手育成事業

2025年度に引き続き、地域体験研修ということで見学参加を募っており、研修を通じて地域での支援に触れる機会を若手OTに持ってもらいたいと考えている。2025年奈良県作業療法学会においては委員による活動報告とワークショップでの認知症地域活動体験を実施。2026年奈良で開催された地域作業療法研究大会では当事者講演に参加するOTの経験年数の分析から若手の参画についての考察を報告した。



家族の会との合同研修会

当事者講演を続ける意義
～認知症支援委員会の役割～

奈良県作業療法士会 地域局 認知症支援委員会